



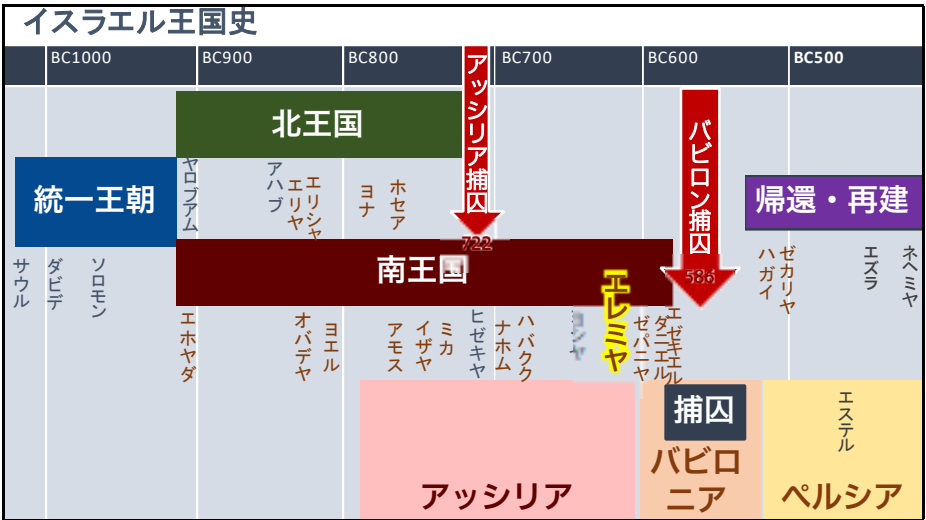
9



10



11



12



13

宣告 イスラエルの回復 エレ31:1～2

「そのとき——【主】のことば——わたしはイスラエルのすべての部族の神となり、彼らはわたしの民となる。」

【主】はこう言われる。「剣を免れて生き残った民は荒野で恵みを見出す。イスラエルよ、出て行って休みを得よ。」

■大難難時代、イスラエルは逃れた荒野で、主に守られる。



14

宣告 永遠の愛 エレ31:3～4

【主】は遠くから私に現れた。「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに真実の愛を尽くし続けた。

おとめイスラエルよ。再びわたしはあなたを建て直し、あなたは建て直される。再びあなたはタンバリンで身を飾り、喜び踊る者たちの輪に入る。

■アブラハムへの恵みの約束が土台。
イスラエルは、一方的に神に愛され続け、主エジプトの時のように、再び喜び踊る。



15

宣告 北王国の回復 エレ31:5～6

再びあなたはサマリアの山々にぶどう畑を作り、植える者たちは植え、その初物を味わう。エフライムの山で、見張る者たちが『さあ、シオンに、私たちの神、【主】のもとに行こう』と呼びかける日が来るからだ。」

■アッシリアに滅ぼされた北部も回復。
サマリア、エフライムは恵みに満ち、何より、主への信仰が回復される。



16

宣告 残りの者の帰還 エレ31:7~8

まことに、【主】はこう言われる。「ヤコブのために喜び歌え。国々のかしらに向かって叫べ。告げ知らせよ、賛美して言え。

『【主】よ、あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』

見よ。わたしは彼らを北の国から連れ出し、地の果てから彼らを集める。その中には、目の見えない者も足の萎えた者も、身ごもった女も臨月を迎えた女も、ともにいる。彼らは大集団をなして、ここに帰る。

■ 信仰ゆえに生き残った全イスラエルが帰還



17

宣告 水の流れのほとりに エレ31:9

彼らは泣きながらやって来る。わたしは彼らを、慰めながら連れ戻る。わたしは彼らを、水の流れのほとりに、つまりくことのない平らな道に導く。まことに、わたしはイスラエルには父であり、エフライムはわたしの長子である。」

■ 喜びのあまり、泣きながら帰還する民。
豊かに水が流れる地へ。
主が整えられた大路を歩いて。



18

宣告 贖われた神の民 エレ31:10~11

諸国の民よ、【主】のことばを聞け。遠くの島々に告げ知らせよ。「イスラエルを散らした方がこれを集め、牧者が群れを飼うように、これを守られる」と。

【主】はヤコブを贖い出し、ヤコブより強い者の手から、これを買戻されたからだ。

■ 十字架の死で贖罪をなしとげたメシアが、
神の国の王となり、イスラエルは帰還。



19

宣告 シオンの丘で エレ31:12

彼らは来て、シオンの丘で喜び歌い、【主】が与える良きものに、穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油、羊の子、牛の子に喜び輝く。彼らのたましいは潤った園のようになり、もう再び、しぼむことはない。

■ イスラエルは豊かな恵みで満たされる。
世界は、エデンの園のようになり、
恵みは、永遠に続く。



20

宣告 恵みに満ち足りて エレ31:13~14

そのとき、若い女は踊って楽しみ、若い男も年寄りも、ともに楽しむ。「わたしは彼らの悲しみを喜びに変え、彼らの憂いを慰め、楽しませる。

祭司のたましいを髄で潤す*。わたしの民は、わたしの恵みに満ち足りる。——【主】のことば。」

*滋養に富んだ最上の部位(詩編63:5)

■老若男女が喜び踊り、
主の恵みに満ち足りる。



死海のほとりに咲くアネモネ

21

宣告 メシア預言 エレ31:15

【主】はこう言われる。「ラマで声が聞こえる。嘆きとむせび泣きが。ラケルが泣いている。その子らのゆえに。慰めを拒んでいる。その子らのゆえに。子らがもういないからだ*。」

*ヘロデの幼児虐殺(マタイ2:18)

■捕囚で子連れ去られた母親の悲しみは、ヘロデに子を殺された母親につながる。
➡その背後には、メシア誕生の出来事が!!



ベツレヘムの幼児虐殺

22

宣告 子らの帰還 エレ31:16~17

【主】はこう言われる。「あなたの泣く声、あなたの目の涙を止めよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。——【主】のことば——彼らは敵の地から帰って来る。

あなたの将来には望みがある。——【主】のことば——あなたの子らは自分の土地に帰って来る。

■メシアは、エジプトから帰還。贖罪を完遂。
王として再臨。全イスラエルを帰還させる。



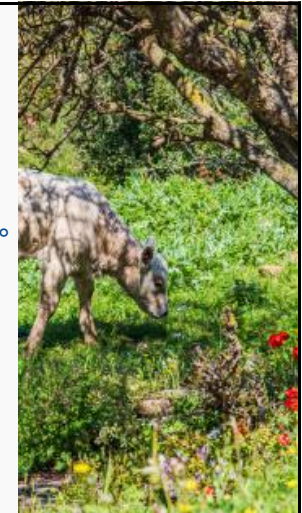
雨期の荒野の緑

23

宣告 辱めの極みに エレ31:18~19

わたしは、エフライムが悲しみ嘆くのを確かに聞いた。『あなたが私を懲らしめて、私は、くびきに慣れない子牛のように懲らしめを受けました。私を帰らせてください。そうすれば、帰ります。【主】よ、あなたは私の神だからです。私は立ち去った後で悔い、悟った後で、ももを打ちました*。恥を見て、辱めさえ受けました。若いころの恥辱を私は負っているのです』と。

*男性器の婉曲的表現。辱めの極みを示す。
➡靈的姦淫(偶像礼拝)からの強い悔い改め。



24

宣告 主の憐れみ エレ31:20

エフライムは、わたしの大切な子、喜びの子なのか。わたしは彼を責めるたびに、ますます彼のことを思い起こすようになる。それゆえ、わたしのはらわたは彼のためにわななき、わたしは彼をあわれまずにはいられない。
——【主】のことは——

■罪のゆえに、イスラエルを裁きながらも、主は、痛みをもって憐れまれていた。



イスラエルの鹿(アイベックス)

25

宣告 一つの新しいこと エレ31:21~22

あなたは自分のために標識を立てて道しるべを置き、あなたが歩んだ道の大路に心を留めよ。おとめイスラエルよ、帰れ。これらの、あなたの町に帰れ。

背信の娘よ、いつまで迷い歩くのか。【主】はこの地に、一つの新しいことを創造される。女の優しさが一人の勇士を包む*。」

*メシア預言。ここだけの特殊な表現。

■メシアは、ダビデの子孫から、乙女から誕生される。



26

宣告 義の住まい エレ31:23

イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。「わたしが彼らを元どおりにするとき、彼らは再び次のことばを、ユダの地とその町々で語る。『義の住まい、聖なる山*よ、【主】があなたを祝福されるように。』

■エルサレムが神の都として再建される。メシアが住まい、イスラエルが仕える。



27

宣告 エルサレムにて エレ31:24~25

ユダとそのすべての町の者はそこに住み、農夫たちも、群れを連れて回る者たちも一緒に住む。

わたしが疲れたたましいを潤し、すべてのしぼんだたましいを満ち足らせるからだ。」

■千年王国において、全イスラエルは、再建された広大な都エルサレムに住む。



オリーブ山のオリーブ

28

宣告 王国の再建 エレ31:26～28

ここで、私は目覚めて、見回した。私の眠りは心地よかった。

「見よ、その時代が来る—【主】のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家とユダの家に、人の種と家畜の種を蒔く。

かつてわたしが、引き抜き、打ち倒し、打ち壊し、滅ぼし、わざわざ下そうと彼らを見張っていたように、今度は、彼らを建て直し、また植えるために見張る—【主】のことば—。

■夢の中で告げられた、イスラエルの再建。



荒野の灌木の花

29

宣告 裁きの原則 エレ31:29～30

その日には、彼らはもはや、『父が酸いぶどうを食べると、子どもの歯が浮く*』とは言わない。

人はそれぞれ自分の咎のゆえに死ぬ。だれでも、酸いぶどうを食べる者は歯が浮くのだ。

*エゼキエル18:2でも引用。当時のことわざ。

■大難難時代、

福音を信じたイスラエルは皆救われる。

拒んだイスラエルには、裁きが下る。



イスラエルのぶどう畑

30

**Ⅱ. 新しい契約 エレミヤ書31章31～39節**

アネモネが咲く死海のほとり

31

宣告 新しい契約 エレ31:31

見よ、その時代が来る—【主】のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、**新しい契約**を結ぶ。

■その時代に、

イスラエルと結ばれるのが、**新しい契約**

→神からの一方的な無条件契約



死海のほとりのアネモネ

32

宣告 律法とは違う契約 エレ31:32

その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約*のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った—【主】のことば—。

*モーセの律法(シナイ契約)→条件付き契約

■律法は、守る者には祝福。

破る者には呪いをもたらした。



シナイ山

33

宣告 心に記される契約 エレ31:33

これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである—【主】のことば—。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す*。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

*律法(十戒)は、石の板に書かれた。

→イスラエルは律法を破った。

■新しい契約は、信じた者の心に、聖霊によって刻まれる。



荒野に咲く花

34

宣告 みんなが主を知る エレ31:34

彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『【主】を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知る*ようになるからだ—【主】のことば—。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさない*からだ。」

*誰に教わらなくても主と一つに!!

*すべてのイスラエルが、神の目に正しい者とされている。



雨期の荒野

35

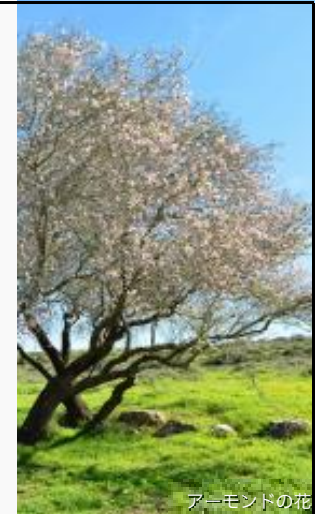
宣告 神の宣言 エレ31:35～36

【主】はこう言われる。太陽を与えて昼間の光とし、月と星を定めて夜の光とし、海をかき立てて波を騒がせる方、その名が万軍の【主】である方が。

「もしも、これらの掟がわたしの前から去ることがあるなら*—【主】のことば—イスラエルの子孫は絶えて、わたしの前にいつまでも一つの民であることはできない。」

*神の掟を神が放棄することはない

→イスラエルが見捨てられることはない



アーモンドの花

36

宣告 誰にも不可能 エレ31:37

【主】はこう言われる。「もしも、上の天が測られ、下の地の基が探り出されることがあるなら*、わたしも、イスラエルのすべての子孫を、彼らの行ったすべてのことのゆえに退ける。―【主】のことば。」

*神以外の誰にも不可能なこと。絶対ない。

→イスラエルが退けられることはない



ユダの荒野

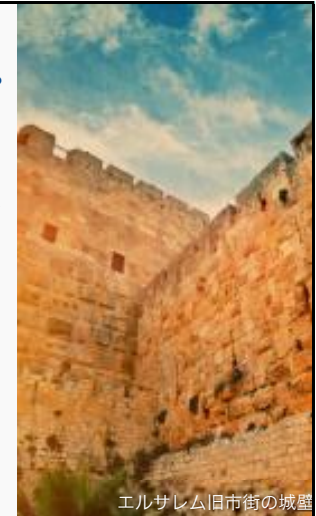
37

宣告 都の再建 エレ31:38~39

「見よ、その時代が来る―【主】のことば―。そのとき、この都はハナンエルのやぐらから隅の門まで*、【主】のために建て直される。測り縄は、さらにそれからガレブの丘に伸び、ゴアの方に向かう。」

*都の北端から南端まで、すべてが再建

■都は、完全に立て直されるだけでなく、周辺にまで、はるかに大きく拡張される。



エルサレム旧市街の城壁

38

宣告 聖なるものとされて エレ31:40

死体と灰の谷*の全体と、東の方ではキデロンの谷と馬の門の隅までの畑は、みな【主】の聖なるものとされ、もはやとこしえに、根こそぎにされず、壊されることはない。」

*ゲン・ヒノムの谷。墓やゴミ捨て場、偶像への人身供養の祭壇まであった。

→ゲヘナ(地獄)を想起させる場所

■都の最も汚れていた場所さえきよめられる。二度と破壊されない、永遠の都が建設。



エルサレム旧市街の城壁

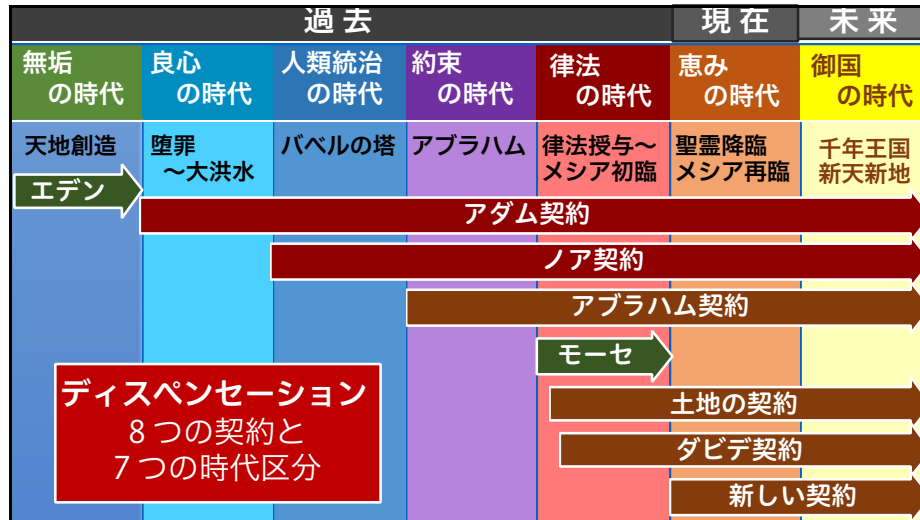
39



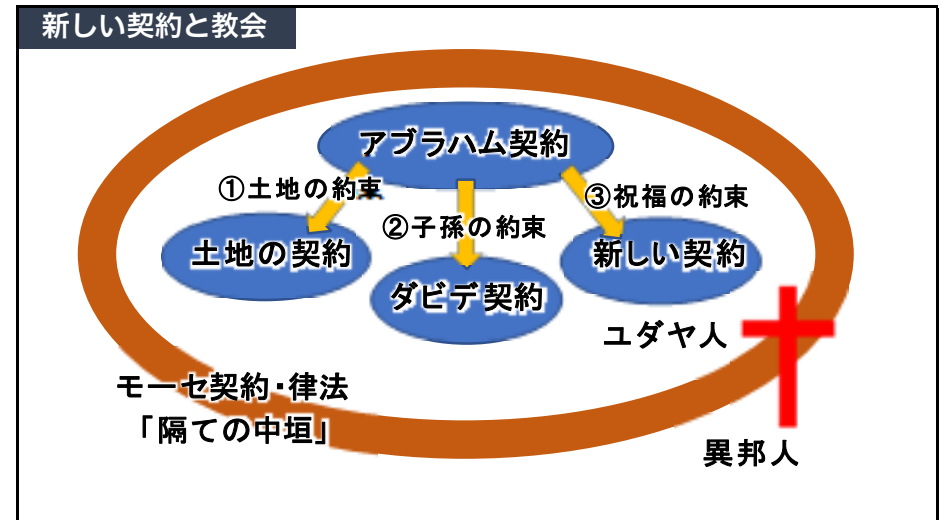
雨期の荒野

III. 新しい契約

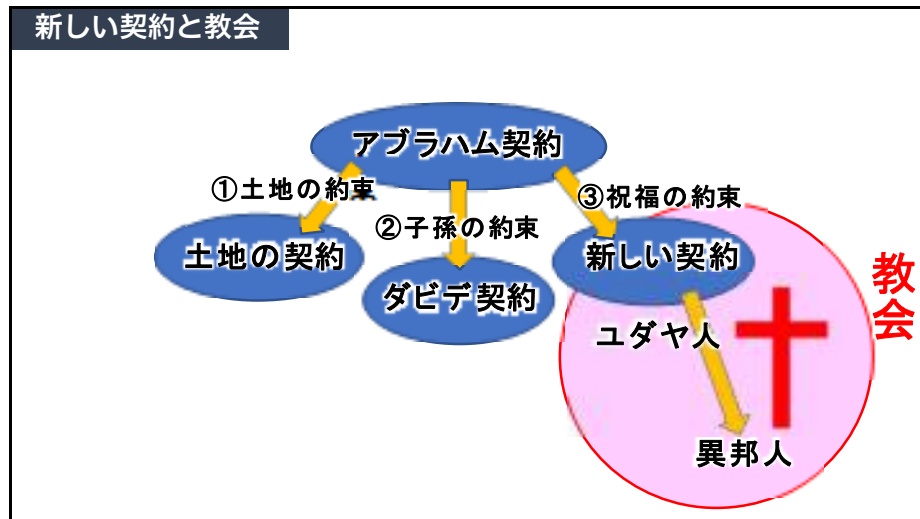
40



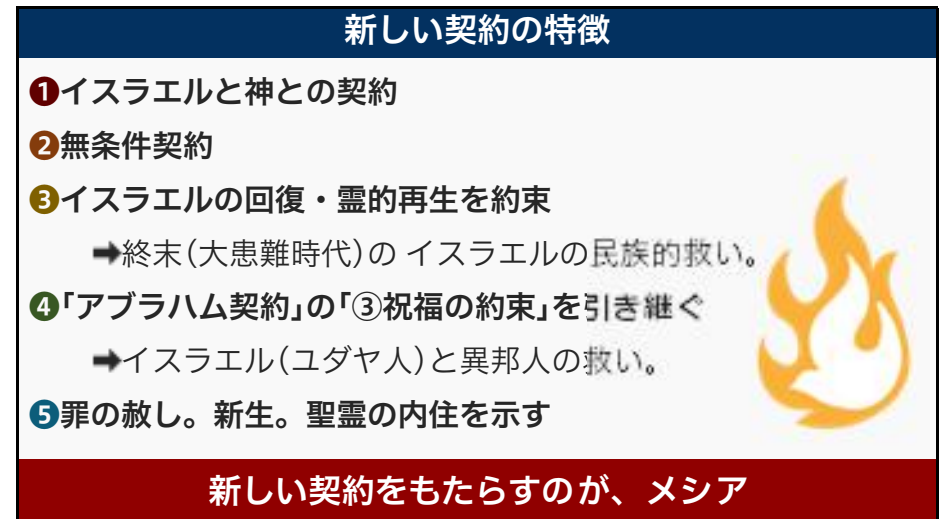
41



42



43



44

エレミヤ と メシア

■ イスラエルの罪を指摘し、拒まれた**イエス**に、人々は、涙の預言者**エレミヤ**の姿を重ねた。

■ **イエスと弟子たちの問答** マタイ16:13~14
「人々は人の子をだれだと言っていますか。」
「バプテスマのヨハネだと言う人もあり、
エリヤだと言う人もあります。またほかの人
たちは**エレミヤ**だとか、また預言者のひとり
だとも言っています。」



45

古い契約(律法) と 新しい契約

■ **モーセ契約(律法)**も、恵み

➡ 罪人には、律法を守る力がない!!

■ **新しい契約**の最大の恵み

➡ 心に記された、神の法を守る力

➡ 信者の内に住まわれる**聖霊**が、
神に従う力を与え、変えていく!!



46

メシアが結んだ 新しい契約

■ **過越の食事での宣言** ルカ 22:20

食事の後、杯も同じようにして言われた。
「この杯は、あなたがたのために流される、
わたしの血による、**新しい契約**です。」

■ この後、主イエスは、十字架で死なれ、
葬られ、復活された。



メシアが、イスラエルと結ばれた 「新しい契約」

47

新しい契約 と メシア

① **エレミヤの時代に約束され**

② **最後の晩餐で締結され**

➡ メシアの贖罪の死と復活

③ **ペンテコステに施行された**

➡ 聖霊降臨



48

新しい契約の完遂の時

- 大艱難時代の苦難の極み、
イスラエルは民族的回心へ。
- メシアが再臨、神の国を建設。
全イスラエルが再建されたエルサレムに帰還。
- 全イスラエルが、忠実に王なるイエスに仕える。
神の民として、神の法のもとに、永遠に生きる。



49



Ⅲ. まとめと適用

新しい契約に育まれて

雨期の荒野

50

新しい契約に生かされている私たち

- 「主イエス・キリストは、私の罪のため、
十字架で死なれ、葬られ、復活された。」
➡ 福音を信じた瞬間に、**聖霊**が内住
心に、**新しい契約**が永遠に刻まれた
 - 神との契約に生きるのが、神の民。
新しい契約に接ぎ木されて、私たちも神の民に!!
- 神との新しい契約に生きるのが、クリスチャン**

51

新しい契約に生きるとは？

- 新しい契約の最大の特徴、古い契約(律法)との違いは？
➡ 心に記された(= **聖霊**の内住)
キリストの愛の律法を実行する力が与えられている
 - 本当に福音を信じた人は、必ず変えられていく!!
➡ **聖霊**が私に気付きを与え、悔い改めを促す
➡ **聖霊**が私を変えてくださる
- 日々、聖霊に変えられていくこと!! ➡ 聖化の課程**

52

聖化の課程で起こること

- ①聖書を学ぶ →聖霊が御言葉を味わい知らされる
- ②問題が噴出 →自分自身の隠れていた課題があらわに
聖霊が罪に気付かせ、悔い改めを促す
- ③打ち碎かれる →へりくだって現実を受け入れる
聖霊の占める領域が増えていく

聖霊によって碎かれ、満たされ、変えられていく

53

変わらない人の悪循環

- ①聖書を学ぶ →知識でとどまると、傲慢になる。
- ②問題が噴出 →拒絶する。自分の課題に蓋をする。
責任を転嫁する(他者に、神に)
- ③頑なにされる →どんどん堅くなになっていく。
終いには信仰すら問われる事態に!!

反面教師が、主を拒んで裁きに至ったイスラエル

54

聖霊が突きつける課題

- 福音を信じて、永遠の神の民とされた。
→主の目には、きよい栄光の体の完全な姿が!!
- 肉体を伴う私たちには、こびりつく多くの罪が!!
→内住する聖霊が、課題を暴き出す
- 聖書を正しく学ぶほど、この課程は加速する
→クリスチャン個人も教会も内的戦いは絶えない!!

55

私たちの心に刻まれた主の約束を覚えよう

- エレミヤ書31:33
これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ
契約はこうである —【主】のことは—。
わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、
彼らの心にこれを書き記す。
わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

56

★ 新しい契約に育まれて ★

■ 突きつけられた課題に向き合い、打ち砕かれ、
聖霊に満たされつつ、変えられて行っているか？
➡ 自分自身の課題は？ 家族との関係は？
「変わったね」と言ってくれる人がいるだろうか？

■ 聖霊に助けられつつ、一つの試練を越えて、
次の試練、次の働き場へと遣わされていこう。

心に刻まれた神の法を、日々を通して知らされていこう

57

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、
① 私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
② 墓に葬られ、
③ 三日目に復活されたこと、を信じます。
私たちは、主の新しい契約のもとで育まれて行きます。
与えられた課題に向き合い、打ち砕かれて、御前にへりくだります。
私の隅々までも、ご聖霊に満たされていきますように。
主に換えられ、生まれつつ、主イエスの証人として遣わされます。
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

58